

排泄における スキントラブルの軽減に向けて

あすなろ園 排泄部会

入所者110名



オムツ使用者92名



スキントラブルを抱えている方
44名(9月現在)

実施方法

①取り組んでいく人数名をピックアップ。



②問題点・改善点をあげる。



③目標の設定。



④排泄時間や介助方法、対応などを見直し、排泄介助の時間を個々の排泄パターンに合わせる。

Aさんの事例

<現状>

- ・日中のトイレ誘導

午前1回、午後1回訴えがあった時

- ・立ち上がりや歩行時に腹圧がかかり失禁されるため、尿取りパット内に出してしまう



臀部に痒みがあり、掻き傷や皮むけできる

<原因>

- ・失禁による臀部の湿潤
- ・残尿があるのではないかと？

<目標>

トイレ誘導時はゆっくり座って頂き、

排尿を促し、失禁の減少を図り、

臀部の湿潤・ムレを改善する。

<実施状況>

トイレでの排泄介助時



お腹に力を入れ、
腹圧をかけてもらうことで、
排尿を促し、残尿をなくすように
した

<結果>

トイレでの排尿量が増えた。



尿取りパット内に失禁される尿量が減少。



痒みはあるが、湿潤・ムレが軽減し、皮むけはなくなり、ただれが軽減された

Bさんの事例

<現状>

- ・尿意・便意はない
- ・日中のトイレ誘導
9時半・15時・18時半
- ・夜間のオムツ交換
0時・6時
- ・臀部の皮膚が弱いため、ただれやすく、
皮むけも出来やすい状態。

<原因>

- ・尿量が多く、失禁や排便が続くことによる臀部の湿潤と紙おむつによるムレ。

<目標>

トイレ誘導の回数を増やし、失禁の減少を図り、臀部の湿潤・ムレを減らす。

そして、臀部の皮むけとただれを軽減させる

<実施状況>

- ・日中のトイレ誘導
9時半・11時・13時・15時・17時・18時半
- ・残便をなくし、排便が続かないように腹部マッサージを施行。
- ・午前と午後に1時間臥床。
- ・離床時はソファーなどに座り、臀部を除圧。
- ・ワセリンを塗布し、皮膚を保護。

<結果>

- ・トイレでの排泄回数が増える
 - ・失禁される量が減少
 - ・除圧し、ワセリン塗布することで
臀部への負担軽減
- 湿潤・ムレが軽減し皮むけ防止できた

Cさんの事例

<現状>

- ・尿意は曖昧、便意はある

- ・オムツ交換

10時・13時・15時・19時・3時

- ・排便時に臀部がただれやすい

<原因>

- ・便の性状が水様で
毎日2回以上続く。



- ・臀部の湿潤・紙おむつによる
ムレ

<目標>

排便時の臀部洗淨を行い、
臀部の清潔保持と軟膏を
塗布し、ただれを軽減する

<実施状況>

- ・排便時、微温湯で洗浄
- ・ミックスした軟膏塗布

<結果>

臀部のただれがなくなった

考察と課題

個別に排尿・排便パターンに合わせ



失禁や失禁される量が減る



ムレが軽減し、陰部・臀部を清潔に保つ



スキントラブルの軽減

さらに...

- オムツ外しの可能性
- 夜間の安眠
- 他者との交流促進

など



生活の質の向上につながる

ご清聴

ありがとうございました